



四国森林管理局

徳島森林管理署 とくしま通信

フォレスター実践研修を当署管内で実施

フォレスターとしての役割や活動を再認識することを目的とした「平成 29 年度実践研修(現地検討)」が、昨年度から管内の三好地区で取り組んでいるケーススタディ地区を研修フィールドとして、11月8日～10日の3日間行いました。実践研修には、既にフォレスター資格を有する四国4県の職員や国有林職員など総勢 13 名とオブザーバーとして徳島署職員 2 名の計 15 名が参加しました。研修では、民国連携に向けた課題の共有や、それらの課題解決について意見交換を行ったほか、低コスト林業を行っていく上で重要となる効率的な路網整備について、実際に民有林を踏査し、自ら効率的なルートを選定を検討しました。徳島署では、このような活動を今後とも継続して取り組んでいきます。



踏査してルートを検討



検討した内容を発表



疑問点は質問して解消



全員で議論しました



国有林について学びました



疑問点は質問しました



樹高を測りました



測量機器で境界を測定

那賀高校のインターンシップを行いました

11月16日～17日、県立那賀高校森林クリエイト科2年生2名を受け入れ、インターンシップを行いました。初日には、四国森林管理局の業務の説明のほか、公務員林業職試験などについて学びました。また、2日目には、実際に国有林に入り、森林の見方や国有林に隣接する民有林との境界の確認作業、早生広葉樹の育成林分を見学するなど、日常的に職員が行っている現場作業を体験・見学しました。インターンシップに参加した森林クリエイト科の生徒は熱心にメモを取りながら、職員の説明や実際の作業動作を観察していました。来年度に卒業生を送り出す森林クリエイト科の生徒が、地域の森林・林業の即戦力になる日も近いと感じた2日間でもありました。

国有林モニターを治山現場に案内しました

底冷えした11月7日、徳島森林管理署と四国森林管理局では四国各県から国有林モニター16名を三好市東祖谷の櫻尾地区民有林直轄治山事業現場に案内し、徳島署が実行している地すべり防止事業について説明しました。このモニター勉強会では、日頃スポットの当たらない山奥の治山現場まで足を運んで頂き、実際の工事現場を観ていただきました。参加者からは「治山事業と私たちの暮らしが密接に関係していることを学びました」などの意見が聞かれました。また、地域の「木の文化」の象徴でもある祖谷の蔓橋も見学し、当署からシラクチカズラ育成のための取組について説明しました。



工事内容を丁寧に説明



図面で現地を確認



かずら橋



参加されたモニター



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
 TEL:088-637-1230 / FAX:088-666-1818
 〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1



国民の森林・国有林